

【九谷の現在 (いま)】詳細

「九谷の現在(いま)」は、360年以上にわたって受け継がれている九谷焼の魅力を解き明かそうと、2つの異なるコンセプトで構成する展覧会です。表現性を追求した作家21名の立体作品を九谷セラミック・ラボラトリーで紹介する「カラフル・オーナメント・オブジェ・クタニ」、九谷焼の伝統や技術を継承しながら新たな価値創造に挑む作家43名の作品を浅蔵五十吉美術館で展示する名工選「NEXT 九谷」展の2つの展覧会を開催。「表現する九谷」と「継承する九谷」、それぞれの切り口で現代の九谷の魅力を探ります。

総合監修：秋元 雄史（東京藝術大学大学美術館館長・教授）

▼カラフル・オーナメント・オブジェ・クタニ

会期：9月6日（金）～10月14日（月・祝）

休館日：水曜日

会場：九谷セラミック・ラボラトリー（通称CERABO KUTANI、石川県小松市若杉町ア91）

時間：10:00-17:00（最終入館は16:30まで）

入館料：一般 300円、学生（高校生以下）150円

キュレーション：秋元 雄史（東京藝術大学大学美術館館長・教授）

参加作家：伊藤 由紀子/今西 泰起/大石 さくら/上出 恵悟/川上 真子/北井 真衣/北村 和義/木戸 優紀子/米谷 彰能/澤谷 由子/田辺 京子/田村 星都/中山 昌果/東元 生/朴木 友美/南 紗真子/水元 かよこ/牟田 陽日/山崎 裕理/山野 芳久 恵/吉田 るみこ

▼名工選「NEXT 九谷」

会期：9月6日（金）～10月14日（月・祝）

休館日：毎週月曜日（祝日の月曜は開館。翌日代休）

会場：浅蔵五十吉美術館（石川県能美市泉台町南1）

時間：9:00～17:00（最終入館は16:30まで）

入館料【個人】一般：430円 75歳以上：320円 高校生以下：無料

【団体（20名以上）】大人：370円 75歳以上：320円

キュレーション：中矢 進一（能美市九谷焼資料館館長）

参加作家：浅蔵 一華/有生 礼子/石冢 俊二郎/井上 雅子/今川 朋実/織田 恵美/勝亦 秀彰/金丸 涼花/上出 恵悟/河内 範子/川島 優子/河田 里美/上端 伸也/北出 太郎/北村 和義/齋藤 まゆ/佐藤 剛志/澤田 郁美/柴田 有希佳/竹内 瑠璃/武腰 彩子/多田 幸史/田畑 奈央人/田村 星都/仲田 錦玉/中田 博士/中田 雅巳/新田 智子/架谷 庸子/糠川 孝之/林 美佳里/平野 由佳/広瀬 絵美/船木 大輔/三浦 晃禎/水元 かよこ/三ツ井 達也/南 絢子/宮本 雅夫/牟田 陽日/山岸 青矢/山近 泰/吉村 茉莉

▼記念トークセッション「表現する九谷」

九谷焼の現在を概観し、伝統と個性が混ざり合う九谷焼の表現の可能性について語り合います。

日程：2019年9月16日（月・祝）

会場：九谷セラミック・ラボラトリー

無料、定員50名

プログラム

15:00～15:30 話題提供「現代陶芸のはじまりに：走泥社と陶片」

講師：中村 裕太（美術家、京都精華大学芸術学部特任講師）

中村 裕太略歴：1983年東京生まれ、京都在住。2011年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了。博士（芸術）。近年の展示に「第20回シドニー・ビエンナーレ」（2016年）、「走泥社：現代陶芸のはじまりに」（森美術館、2019年）など。

15:30～17:00

トークセッション「表現する九谷」/モデレーター：秋元 雄史（「九谷の現在（いま）」監修、東京藝術大学大学美術館館長・教授）、パネリスト：「九谷の現在（いま）」展出展作家

申し込みは公式ウェブサイトにて受け付けます (<https://kutanism.com/>)。

【九谷饗宴】詳細

霊峰・白山のすそ野に広がる豊かな自然と、先人の技や智が息づく加賀國を舞台に、九谷焼と食を存分に味わうスペシャルイベント。国内外で腕を磨いた料理人と九谷焼作家による1日限りのコラボレーションランチ・ディナーと、メディアで話題の飲食店や酒蔵の逸品を楽しめる屋台イベントを実施します。

▼Session1 「YxYxYArn」

九谷焼作家・吉田幸央と料理人・米田裕二がSHÓKUDŌ YArnで行う1日限りの食事会。2人がこれまでに経験してきた様々なエッセンスを染色体のように組み合わせ、九谷焼の産地でしかできない表現を創作します。

日程：2019年9月28日（土）ランチ/12:00-15:00（Open11:45）、ディナー/18:30-21:30（Open18:15）

会場：SHÓKUDŌ YArn（石川県小松市吉竹町1丁目37-1）

参加費：ランチ/10,000円、ディナー/20,000円（いずれも税込、ドリンク代別）

定員：各回11名

吉田 幸央/1960年小松市生まれ。88年に錦山窯に入り、09年より錦山窯四代。92年伝統九谷焼工芸展大賞、10年日本伝統工芸展高松宮記念賞。

米田 裕二/1976年生まれ、石川県能美市出身。金沢大学卒業後、イタリアとスペインで料理修行を行った後、2015年SHÓKUDŌ YArnをオープンする。

▼Session2 那谷・天外の饗宴

ル・グリル ドミニク・ブシェ カナザワを迎え、那谷の霊谷に繰り広げるガストロノミー。〈いわやを巡り〉・奇巖を眺めながら、谷を満たす楽曲の「宴遊」。九谷の奇想が一夜の為に器を持って伴奏します。

日程：2019年9月29日（日）17:00-20:00（受付16:00）

会場：那谷寺（石川県小松市那谷町ユ122）

参加費 50,000円（税込、ドリンク代含） 音楽演出：直江 学美

定員：20名

中村 卓夫（九谷焼作家）/中村梅山の次男。金沢に根付く数寄文化や父・梅山の考案による象嵌色絵の手法を用いつつ、“うつわ”と空間の関係領域を拡張、展開している。本プログラムでは企画監修も担う。

牟田 陽日 (九谷焼作家) /1981年東京都生まれ。2008年ロンドン、ゴールドスミスカレッジ、ファインアート科卒業。2012年石川県立九谷焼技術研修所卒業。2016年パラミタ陶芸大賞受賞。

ル・グリル ドミニク・ブシェ/パリの星付きシェフ ドミニク・ブシェが監修する、北陸の食材と熟成肉をメインとした新感覚フレンチレストラン。

▼Session3 「九谷よこちょ」

「美味しく九谷を楽しもう！」をテーマに、石川・福井の飲食店が逸品を持ち寄った屋台が並びます。

日程：2019年9月21日(土)、22日(日) 10:00~16:00

会場：能美市九谷焼資料館前駐車場(石川県能美市泉台町南56)

定員：2日間500名(1日250名) ※荒天中止

出店店舗：[EATLAB](#)、[ウミネコパーラー](#)、[金澤ブルワリー](#)、[KOKOPELLI COFFEE](#)、[中国料理とシェリー酒 西華房](#)、[三七味噌](#)、[おすしと和食 はた中](#)、[パンの朝顔](#)、[東酒造](#)、[ひらみばん](#)、[FLAT KITCHEN](#)

申し込みは公式ウェブサイトにて受け付けます (<https://kutanism.com/>)。

【KUTANI と加賀国1200年】 詳細

北陸新幹線が加賀地域に延伸開業する2023年、加賀立国1200年を迎えます。この大きな節目を前に、小松・能美両市のイメージの要となる“九谷焼/KUTANI”を地域ブランドとしていかに世界に発信するべきか、九谷焼作家や識者が今後の方向性を展望します。

日程：2019年9月15日(日)

会場：小松芸術劇場うらら 小ホール(石川県小松市土居原町710)

無料、定員250名

申し込みは公式ウェブサイトにて受け付けます (<https://kutanism.com/>)。

▼タイムテーブル

14:00~14:10 (10m) 挨拶、事業内容紹介

14:10~15:10 (60m) テーマ①「九谷の現在—継承の九谷—」

15:10~15:15 (05m) 登壇者紹介

15:15~16:15 (60m) テーマ②「アROUND九谷—九谷の文化—」

16:15~16:25 (10m) 休憩

16:25~16:30 (05m) 登壇者紹介

16:30~17:30 (60m) テーマ③「九谷を世界へ」

▼プログラム

テーマ①「九谷の現在—継承の九谷—」

モデレーター：中矢 進一(能美市九谷焼資料館館長)、パネリスト：浅蔵 一華(九谷焼作家)、有生 礼子(九谷焼作家)、上出 恵悟(九谷焼作家)、田村星都(九谷焼作家)、中田博士(九谷焼作家)、牟田陽日(九谷焼作家)

テーマ②「アラウンド九谷ー九谷の文化ー」

モデレーター：秋元 雄史（東京藝術大学大学美術館 館長・教授）、パネリスト：生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト）、浦 淳（建築家）、米田裕二（料理人）

テーマ③「九谷を世界へ」

モデレーター：秋元 雄史（東京藝術大学大学美術館 館長・教授）、パネリスト：和田 慎司（小松市長・クタニズム実行委員会委員長）、井出 敏朗（能美市長・クタニズム実行委員会副委員長）、東 浩一（石川県陶磁器商工業協同組合理事長）、吉田 幸央（九谷焼作家）

【関連イベント】詳細

KUTANism/クタニズムの期間中、小松市と能美市ではさまざまなイベントが開かれています。

・九谷陶芸村まつり（秋の茶碗まつり）

九谷焼店舗がテント出店し、お値打ち価格で九谷焼を販売します。

会期：2019年9月21日（土）～23日（月・祝）

会場：九谷陶芸村（能美市泉台町南22）

・KUTANI ナイトミュージアム

夜の静寂に包まれた普段とは異なる大人な雰囲気の中で、九谷焼作品を鑑賞できます。ウルトラアートによる映像投影も行います。

会期：2019年9月21日（土）・22日（日）

会場：能美市九谷焼資料館（能美市泉台町南56）

浅蔵五十吉美術館（能美市泉台町南1）

・九谷焼アクセサリー「Wear KUTANI」特別販売

女性作家による女性のための九谷焼アクセサリー「Wear KUTANI」を特別販売します。

会期：2019年9月6日（金）～10月14日（祝・月）

会場：浅蔵五十吉美術館（能美市泉台町南1）

・九谷の美を感じる「九谷ネイル」体験

ロケーションの美しい浅蔵五十吉美術館で、伝統工芸「九谷焼」の絵柄を身に着けられる特別な体験。繊細な赤絵細描の模様が手爪に描かれる様子を、目の前で見ることができます。※要予約(TEL:0761-58-6789)

会期：2019年9月6日（金）～

会場：浅蔵五十吉美術館（能美市泉台町南1）

・没後十年 三代徳田八十吉が夢想した「九谷の競演」

「彩釉磁器」を生み出した三代徳田八十吉は生前、自らが認め、九谷焼を背負い活躍すると夢見た九谷焼作家の作品を数多く寄贈しています。没後10年を迎え、三代が夢を託そうとした作家たちを一堂に紹介します。

会期：2019年9月14日（土）～11月24日（日）

会場：小松市立錦窯展示館（小松市大文字町95-1）